

私の自慢

明治中学校 一年 恵茂田 茜

私の自慢は、住んでいる地域の自然です。まず家の周りには、たくさん草木があります。登下校する通学路にも、地域の方々が手入れしてくださっている草木があります。公園も自然豊かな場所の中にあります。

そして何より素晴らしいのが、学校です。正門を通って校舎に入る間にたくさんの植え込みがあります。その植え込みはいつも美しく手入れされています。まるでどこかの有名な庭園のようです。朝登校し、その植え込みを見ると、心が整うような感じがします。校庭にもたくさん草木があります。桜、松、杉、つつじ、あじさいなどが校庭をぐるりと囲んでいます。図書室前の花壇には、春はチューリップ、夏はアサガオが咲き乱れています。季節によって咲く植物は違っているのですが、一年中草木を楽しむことができます。とてもうれしいです。

人の手が入らない大自然もあります。カモシカやヘビやカエルを何度も見たことがあります。そのときは、とても驚きました。しかし、自然が多いからこそ、動物たちも安心してこの地域で暮らしているんだな、とうれしくなります。

私の家の庭にも、たくさん花や木があります。桜や芝桜、あじさいなど季節の移り変わりを楽しませてくれます。両親や祖父母は植物のことをいろいろ教えてくれるので、知識が増えます。また、桜の季節には家の庭で花見をしたり、芝生に寝転がって空を眺めたりすると、本当に気持ちがよくなります。

私の地域には、大きな神社があります。その神社は大木に囲まれていて、とても神聖な雰囲気があります。晴れているときに見上げると、杉の木の間に青い空が見えて、とてもきれいです。通学路の坂道も杉の木で囲まれています。急な坂道ですが、杉の木で囲まれている道を通ると、日陰ができていて空気がきれいで、とても気持ちがいいです。家の近くの公園には、バラやイチヨウの木などがあり、これもまたきれいです。

このように、たくさん緑に囲まれて暮らしている私たちですが、この美しさは当たり前なものではありません。この自然の美しさを保つてくださっている方々がいいます。学校では技能主事さん、公園や通学路は地域の方々です。夏の暑い日差しの中、いつも草刈

りや手入れをしてくださっています。そのおかげで、美しい緑が保たれているのです。よくテレビなどで、都会に住んでいる人たちが、

「田舎は空気がきれいですね。」

と、言っているのを聞いたことがあります。なぜ違うのだろうか、と時々思っています。しかし、小学校の理科の授業で、植物は二酸化炭素を吸い、酸素を出してくれるというのを学びました。だから緑の多い田舎の方が、都会に比べて空気がきれいでおいしいのだということがわかりました。また、緑が多いことで、気持ちがよくなり、心もいやさなくなります。空気がきれいだけでなく、心もきれいになるのだと思います。

真夏の暑い日差しの中、部活動をしていると、セミの音が聞こえてきます。夜になると、草むらから虫の音が聞こえます。少しうるさいと思うこともありますが、夏を感じる事ができます。草木や動物で四季を感じる事ができるなんて最高です。

私は、この緑をずっと守っていきたくて思っています。いつも祖父や地域の方々、技能主事さんが、緑を絶やさないように定期的に手入れをしてくださっています。そのおかげで、美しい緑が保たれているのです。

げで気持ちのよい生活ができています。私は、自分にも何かできることはないかと考えています。通学路や公園にごみを捨てないことはもちろん、草取りなどの奉仕活動にも積極的に参加して、学校や地域の緑を守りたいです。

私は、美しい緑に囲まれ、毎日の生活を楽しんでいきます。この緑を守り続けている人たちがいるこの美しい地域が、私の自慢です。